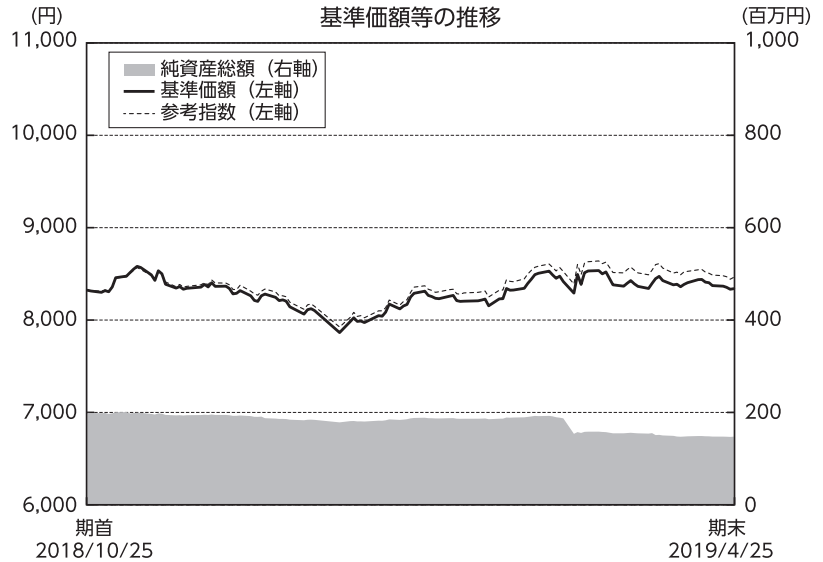


【基準価額等の推移】

■ 年2回決算型 ■

第10期首	8,323円
第10期末	8,340円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	0.2%



（注1）参考指数は、ICE BofAML 1-10 Year UK Gilt Index（円換算ベース）です。

（注2）参考指数は、2018年10月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2019年3月に、世界景気の減速懸念を背景に主要中央銀行がハト派姿勢に転じ、英国の長期金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ② 2019年1月～3月に、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱の懸念が後退したことや市場のリスク選好ムードの強まりを受けて、英ポンド高・円安となったこと

下落要因

- ① 2018年11月～12月に、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題を背景に先行き不透明感が強まり、英ポンド安・円高となったこと

【投資環境】**<アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>**

アムンディ・英国債マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

【ポートフォリオ】**<アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>**

当ファンドは、英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債を主要投資対象とする「アムンディ・英国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。当（作成）期中、マザーファンドの組入比率は高位を維持しました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<アムンディ・英国債マザーファンド>

アムンディ・英国債マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

（アムンディ・アセットマネジメント）

【分配金】**<アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）>**

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、分配を行いました（各期の分配金額および分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

<アムンディ・英国債ファンド（年2回決算型）>

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】**<アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）／（年2回決算型）>**

引き続き、英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債を主要投資対象とする「アムンディ・英国債マザーファンド」の受益証券への投資を通じて、安定した収益の確保と中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<アムンディ・英国債マザーファンド>

アムンディ・英国債マザーファンドの運用報告書（後述）をご覧ください。

（アムンディ・アセットマネジメント）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第52期～第57期 (2018年10月26日 ～2019年4月25日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	44円 (21) (21) (2)	0.673% (0.323) (0.323) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	2 (0) (0) (2) (0)	0.036 (0.006) (0.005) (0.024) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	46	0.709	

期中の平均基準価額は6,540円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
 (注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
 (注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
 (注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月26日から2019年4月25日まで）

決 算 期	第 52 期 ～ 第 57 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アムンディ・英国債マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 325,621	千円 280,970

(注) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月26日から2019年4月25日まで）

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2019年4月25日現在）

親投資信託残高

銘	柄	第9作成期末（第51期末）		第10作成期末（第57期末）	
		口	数	口	数
			千口		千円
アムンディ・英国債マザーファンド			2,085,425		1,529,797

（注1）口数・評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）アムンディ・英国債マザーファンド全体の受益権口数は、当作成期末1,928,504千口です。

■投資信託財産の構成（2019年4月25日現在）

項	目	第10作成期末（第57期末）	
		評 価 額	比 率
		千円	%
アムンディ・英国債マザーファンド		1,529,797	99.0
コール・ローン等、その他		14,717	1.0
投資信託財産総額		1,544,514	100.0

（注1）金額の単位未満は切捨てです。

（注2）アムンディ・英国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（1,680,582千円）の投資信託財産総額（1,684,760千円）に対する比率は99.8%です。

（注3）外貨建資産は、当作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月25日現在における邦貨換算レートは、1英ポンド=144.90円です。

アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

	(2018年11月26日)	(2018年12月25日)	(2019年1月25日)	(2019年2月25日)	(2019年3月25日)	(2019年4月25日)現在
項 目	第 52 期 末	第 53 期 末	第 54 期 末	第 55 期 末	第 56 期 末	第 57 期 末
(A) 資 産	1,803,630,293円	1,718,538,680円	1,711,653,173円	1,693,401,637円	1,633,819,418円	1,544,514,417円
コール・ローン等	17,452,981	19,449,239	18,634,219	17,264,932	15,627,242	6,416,649
アムンディ・英国債 マザーファンド(評価額)	1,786,177,312	1,699,089,441	1,693,018,954	1,672,136,705	1,608,192,176	1,529,797,768
未 収 入 金	—	—	—	4,000,000	10,000,000	8,300,000
(B) 負 債	10,797,839	12,494,599	9,020,453	13,251,356	18,979,579	10,525,344
未払収益分配金	6,776,515	6,707,223	6,536,982	6,434,257	6,189,785	5,920,504
未払解約金	1,781,095	3,720,362	290,911	4,554,435	10,640,001	2,288,608
未払信託報酬	2,151,704	1,898,694	1,939,689	1,925,254	1,736,131	1,818,812
未払利息	51	57	—	44	—	18
その他未払費用	88,474	168,263	252,871	337,366	413,662	497,402
(C) 純資産総額(A-B)	1,792,832,454	1,706,044,081	1,702,632,720	1,680,150,281	1,614,839,839	1,533,989,073
元 本	2,710,606,343	2,682,889,506	2,614,792,961	2,573,703,026	2,475,914,187	2,368,201,998
次期繰越損益金	△ 917,773,889	△ 976,845,425	△ 912,160,241	△ 893,552,745	△ 861,074,348	△ 834,212,925
(D) 受益権総口数	2,710,606,343口	2,682,889,506口	2,614,792,961口	2,573,703,026口	2,475,914,187口	2,368,201,998口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,614円	6,359円	6,512円	6,528円	6,522円	6,477円

(注記事項)

作成期首元本額	2,735,300,040円
作成期中追加設定元本額	16,455,732円
作成期中一部解約元本額	383,553,774円

アムンディ・英国債ファンド（毎月決算型）

■ 損益の状況

第52期	自2018年10月26日	至2018年11月26日	第55期	自2019年1月26日	至2019年2月25日
第53期	自2018年11月27日	至2018年12月25日	第56期	自2019年2月26日	至2019年3月25日
第54期	自2018年12月26日	至2019年1月25日	第57期	自2019年3月26日	至2019年4月25日

項 目	第 52 期	第 53 期	第 54 期	第 55 期	第 56 期	第 57 期
(A) 配 当 等 收 益	△ 172円	△ 562円	△ 342円	△ 778円	△ 490円	△ 343円
支 払 利 息	△ 172	△ 562	△ 342	△ 778	△ 490	△ 343
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	9,535,087	△ 59,761,694	48,451,140	12,719,890	6,523,685	△ 2,774,626
売 買 益	9,627,425	310,952	48,765,165	12,890,991	7,284,673	404,339
売 買 損	△ 92,338	△ 60,072,646	△ 314,025	△ 171,101	△ 760,988	△ 3,178,965
(C) 信 託 報 酬 等	△ 2,240,963	△ 1,979,436	△ 2,024,774	△ 2,010,516	△ 1,812,544	△ 1,903,052
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	7,293,952	△ 61,741,692	46,426,024	10,708,596	4,710,651	△ 4,678,021
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△740,733,385	△729,304,760	△772,705,530	△718,909,905	△684,498,160	△652,785,211
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△177,557,941	△179,091,750	△179,343,753	△178,917,179	△175,097,054	△170,829,189
（ 配 当 等 相 当 額 ）	(73,835,179)	(70,533,776)	(64,957,089)	(62,138,685)	(57,551,432)	(52,315,281)
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	(△251,393,120)	(△249,625,526)	(△244,300,842)	(△241,055,864)	(△232,648,486)	(△223,144,470)
(G) 計 (D+E+F)	△910,997,374	△970,138,202	△905,623,259	△887,118,488	△854,884,563	△828,292,421
(H) 收 益 分 配 金	△ 6,776,515	△ 6,707,223	△ 6,536,982	△ 6,434,257	△ 6,189,785	△ 5,920,504
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△917,773,889	△976,845,425	△912,160,241	△893,552,745	△861,074,348	△834,212,925
追 加 信 託 差 損 益 金	△180,133,017	△182,979,257	△181,174,108	△181,233,512	△177,956,735	△173,997,843
（ 配 当 等 相 当 額 ）	(71,261,970)	(66,648,264)	(63,130,250)	(59,823,660)	(54,693,971)	(49,147,847)
（ 売 買 損 益 相 当 額 ）	(△251,394,987)	(△249,627,521)	(△244,304,358)	(△241,057,172)	(△232,650,706)	(△223,145,690)
分 配 準 備 積 立 金	430,981	425,291	591,454	742,969	714,821	681,805
繰 越 損 益 金	△738,071,853	△794,291,459	△731,577,587	△713,062,202	△683,832,434	△660,896,887

- (注1) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用
当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第36条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を支払っております。

分配金の計算過程

第52期計算期間末における費用控除後の配当等収益（4,199,887円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（73,837,046円）および分配準備積立金（432,533円）より分配対象収益は78,469,466円（10,000口当たり289円）であり、うち6,776,515円（10,000口当たり25円）を分配金額としております。

第53期計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,818,896円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（70,535,771円）および分配準備積立金（426,111円）より分配対象収益は73,780,778円（10,000口当たり274円）であり、うち6,707,223円（10,000口当たり25円）を分配金額としております。

第54期計算期間末における費用控除後の配当等収益（4,884,126円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（64,960,605円）および分配準備積立金（413,955円）より分配対象収益は70,258,686円（10,000口当たり268円）であり、うち6,536,982円（10,000口当たり25円）を分配金額としております。

第55期計算期間末における費用控除後の配当等収益（4,279,210円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（62,139,993円）および分配準備積立金（581,683円）より分配対象収益は67,000,886円（10,000口当たり260円）であり、うち6,434,257円（10,000口当たり25円）を分配金額としております。

第56期計算期間末における費用控除後の配当等収益（3,330,974円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（57,553,652円）および分配準備積立金（713,951円）より分配対象収益は61,598,577円（10,000口当たり248円）であり、うち6,189,785円（10,000口当たり25円）を分配金額としております。

第57期計算期間末における費用控除後の配当等収益（2,750,574円）、費用控除後の有価証券等損益額（0円）、信託約款に規定する収益調整金（52,316,501円）および分配準備積立金（683,081円）より分配対象収益は55,750,156円（10,000口当たり235円）であり、うち5,920,504円（10,000口当たり25円）を分配金額としております。

■分配金のお知らせ

決 算 期	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
1 万口当たりの分配金（税込み）	25円	25円	25円	25円	25円	25円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第52期	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
	(2018年10月26日 ～2018年11月26日)	(2018年11月27日 ～2018年12月25日)	(2018年12月26日 ～2019年1月25日)	(2019年1月26日 ～2019年2月25日)	(2019年2月26日 ～2019年3月25日)	(2019年3月26日 ～2019年4月25日)
当期分配金 (対基準価額比率)	25 (0.377%)	25 (0.392%)	25 (0.382%)	25 (0.382%)	25 (0.382%)	25 (0.384%)
当期の収益	15	10	18	16	13	11
当期の収益以外	9	14	7	9	11	13
翌期繰越分配対象額	264	249	243	235	223	210

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第10期 (2018年10月26日 ～2019年4月25日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	56円 (27) (27) (2)	0.673% (0.323) (0.323) (0.027)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) (印刷費用) (その他)	6 (1) (0) (5) (0)	0.072 (0.006) (0.005) (0.060) (0.001)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ファンドの法定開示資料の印刷に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	62	0.745	

期中の平均基準価額は8,310円です。

- (注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注4) その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 親投資信託受益証券の設定、解約状況（2018年10月26日から2019年4月25日まで）

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アムンディ・英国債マザーファンド	千口 1,042	千円 900	千口 61,965	千円 54,100

(注) 単位未満は切捨てです。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月26日から2019年4月25日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2019年4月25日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首（前期末）	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
アムンディ・英国債マザーファンド	千口 229,622	千口 168,699	千円 146,650

（注1）口数・評価額の単位未満は切捨てです。

（注2）アムンディ・英国債マザーファンド全体の受益権口数は、当期末1,928,504千口です。

■投資信託財産の構成（2019年4月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
アムンディ・英国債マザーファンド	千円 146,650	% 98.5
コール・ローン等、その他	2,169	1.5
投資信託財産総額	148,819	100.0

（注1）金額の単位未満は切捨てです。

（注2）アムンディ・英国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（1,680,582千円）の投資信託財産総額（1,684,760千円）に対する比率は99.8%です。

（注3）外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月25日現在における邦貨換算レートは、1英ポンド=144.90円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2019年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	148,819,802円
コール・ローン等	2,169,039
アムンディ・英国債 マザーファンド(評価額)	146,650,763
(B)負 債	1,333,945
未払信託報酬	1,213,750
未払利息	6
その他未払費用	120,189
(C)純資産総額(A-B)	147,485,857
元 本	176,836,462
次期繰越損益金	△ 29,350,605
(D)受益権総口数	176,836,462口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,340円

(注記事項)

期首元本額	239,333,725円
期中追加設定元本額	4,647,681円
期中一部解約元本額	67,144,944円

■損益の状況

当期 自2018年10月26日 至2019年4月25日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	△ 413円
支 払 利 息	△ 413
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	1,648,336
売 買 益	2,292,925
売 買 損	△ 644,589
(C)信 託 報 酬 等	△ 1,334,453
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	313,470
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△31,673,957
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	2,009,882
(配 当 等 相 当 額)	(3,728,373)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,718,491)
(G) 計 (D+E+F)	△29,350,605
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△29,350,605
追 加 信 託 差 損 益 金	2,009,882
(配 当 等 相 当 額)	(3,737,766)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 1,727,884)
分 配 準 備 積 立 金	12,561,961
繰 越 損 益 金	△43,922,448

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用

当ファンドの投資対象である親投資信託の運用指図に係る権限を委託するために要する費用として、信託約款第36条に規定する計算期間を通じて毎日、投資信託財産の純資産総額に年10,000分の60以内の率を乗じて得た額を支払っております。

■分配金のお知らせ

当期の分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

（単位：円・1万口当たり・税込み）

項 目	第10期
	(2018年10月26日～2019年4月25日)
当期分配金	—
（対基準価額比率）	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	921

（注1）「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

（注2）「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

アムンディ・英国債マザーファンド

運用報告書

《第10期》

決算日：2019年4月25日

(計算期間：2018年10月26日～2019年4月25日)

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2014年7月31日から無期限です。
運用方針	主として英ポンド建の英国国債等（国債、地方債、政府保証債、政府機関債）、英国物価連動国債、国際機関債に投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用にあたっては、アムンディ・アセットマネジメントに運用の指図に関する権限を委託します。
主要運用対象	英ポンド建債券
組入制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債券組入比率	純資産総額
	円	騰落率	参考指数	騰落率		
6期(2017年4月25日)	8,340	10.6	8,994	11.0	96.7	3,051
7期(2017年10月25日)	8,830	5.9	9,475	5.3	87.9	2,805
8期(2018年4月25日)	9,004	2.0	9,577	1.1	88.8	2,467
9期(2018年10月25日)	8,610	△4.4	9,194	△4.0	97.9	1,993
10期(2019年4月25日)	8,693	1.0	9,348	1.7	99.0	1,676

(注) 参考指数は、ICE BofAML 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。ここで述べられているインデックス・データは、ICE Data Indices, LLC、その関係会社(「ICE Data」)及び/又はその第三者サプライヤーの財産であり、アムンディ・ジャパン株式会社による使用のためにライセンスされています。ICE Data及びその第三者サプライヤーは、その使用に関して一切の責任を負いません。免責条項の全文については、<https://www.amundi.co.jp/fund/280074.html> または <https://www.amundi.co.jp/fund/280075.html> をご参照ください。以下同じ。

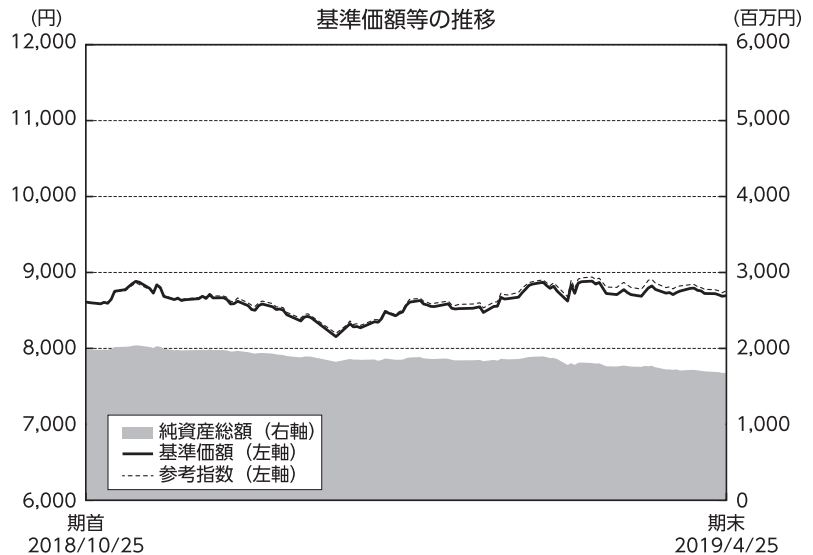
■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債券組入比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率	
(期首) 2018年10月25日	8,610	—	9,194	—	97.9
10月末	8,594	△0.2	9,183	△0.1	96.4
11月末	8,666	0.7	9,281	0.9	97.1
12月末	8,402	△2.4	8,999	△2.1	97.0
2019年1月末	8,552	△0.7	9,169	△0.3	97.9
2月末	8,831	2.6	9,467	3.0	98.2
3月末	8,708	1.1	9,402	2.3	97.9
(期末) 2019年4月25日	8,693	1.0	9,348	1.7	99.0

(注) 騰落率は期首比です。

【基準価額等の推移】

第10期首	8,610円
第10期末	8,693円
騰落率	1.0%



(注1) 参考指数は、ICE BofAML 1-10 Year UK Gilt Index (円換算ベース) です。
 (注2) 参考指数は、2018年10月25日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2019年3月に、世界景気の減速懸念を背景に主要中央銀行がハト派姿勢に転じ、英国の長期金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ② 2019年1月～3月に、英国の合意なきEU（欧州連合）離脱の懸念が後退したことや市場のリスク選好ムードの強まりを受けて、英ポンド高・円安となったこと

下落要因

- ① 2018年11月～12月に、米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題を背景に先行き不透明感が強まり、英ポンド安・円高となったこと

【投資環境】**<英国債券市場>**

当期初、1.4%付近で開始した英国10年国債利回りは、米中貿易摩擦による世界景気の減速懸念、世界的な株価の大幅下落、英国のEU離脱問題をめぐる先行き不透明感などから低下しました。2019年に入ると、軟調な中国の経済統計や欧州委員会によるユーロ圏経済見通しの下方修正、加えて3月にはFRB（米連邦準備理事会）が利上げ休止を示唆するなど、主要中央銀行がハト派姿勢に転じたことでリスク回避の動きが強まり、長期金利は低下基調が続きました。しかし4月に入ると、中国の経済指標の改善や英国のEU離脱期限の延期、米中通商協議の進展期待などからリスク選好の動きが強まりました。これを受けて英国10年国債利回りは上昇（債券価格は下落）したものの、当期初の水準にはおおよばず1.2%付近で当期末を迎えました。

<為替市場>

当期初、144円付近で始まった英ポンド/円相場は、米中貿易摩擦への懸念や英国のEU離脱問題をめぐる先行不透明感を背景にリスク回避姿勢が強まり、英ポンド安・円高が進行し136円付近まで下落しました。2018年末までは、円は安全資産としての役割を果たしていましたが、2019年に入り、リスク・センチメントが改善の兆しをみせ始めると、円からの資金シフトを促し英ポンド高・円安に転じました。その後、英国の合意なきEU離脱懸念が後退したことでさらに英ポンドが上昇し、当期初と同水準の144円付近で当期末を迎えました。

【ポートフォリオ】

不透明な投資環境が続いているものの、当ファンドは英国のEU離脱問題の先行きに比較的明るい見通しを持っており、今後も機動的な運用を行うために、当期はデュレーションを低水準に抑え、物価連動国債のアンダーウェイトを維持しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

【今後の運用方針】

現在のように先行きが不透明な状況下で、投資戦略を型通りに策定することは適切ではないと考えます。当ファンドは、英国議会で行なわれている議論の結果を踏まえてポジションを機動的に調整する方針です。当面はデュレーションを低水準に抑えるスタンスと物価連動国債のアンダーウェイトを維持します。

(アムンディ・アセットマネジメント)

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第10期 (2018年10月26日 ～2019年4月25日)		項 目 の 概 要
	金額	比率	
そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	1円 (1)	0.007% (0.006)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・ 資産の移転等に要する費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	1	0.007	

期中の平均基準価額は8,625円です。

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■ 期中の売買及び取引の状況 (2018年10月26日から2019年4月25日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外国	イギリス	国債証券	千英ポンド 2,090	千英ポンド 3,997

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

■ 主要な売買銘柄 (2018年10月26日から2019年4月25日まで)

公社債

買		付	売		
銘	柄	金 額	銘	柄	
		千円		千円	
UKT 3.75	09/07/20 (イギリス)	300,857	UKT 2	09/07/25 (イギリス)	305,669
			UKT 3.75	09/07/19 (イギリス)	136,078
			UKT 4.75	03/07/20 (イギリス)	55,817
			UKT 8	06/07/21 (イギリス)	48,596
			UKT 3.75	09/07/20 (イギリス)	25,171
			UKT 2	07/22/20 (イギリス)	4,857

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) 金額は、外貨額を約定日の属する月の月末(決算日の属する月については決算日)の日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■利害関係人との取引状況等（2018年10月26日から2019年4月25日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細（2019年4月25日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちBB格 以下組入比率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
イギリス	千英ポンド 10,966	千英ポンド 11,451	千円 1,659,393	% 99.0	% —	% —	% 37.4	% 61.6
合 計	10,966	11,451	1,659,393	99.0	—	—	37.4	61.6

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

（注3）単位未満は切捨てです。

（注4）—印は組入れなしです。

（注5）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 個別銘柄開示

外国（外貨建）公社債

種 類	銘 柄	当 期 末					償 還 年 月 日
		利 率	額 面 金 額	評 価 額		債 還 年 月 日	
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額		
国 債 証 券	(イギリス)	%	千英ポンド	千英ポンド	千円		
	UKT 0.75 07/22/23	0.75	2,127	2,119	307,092	2023/7/22	
	UKT 2 07/22/20	2.0	2,181	2,214	320,893	2020/7/22	
	UKT 3.75 09/07/19	3.75	444	448	65,036	2019/9/7	
	UKT 3.75 09/07/20	3.75	2,162	2,250	326,086	2020/9/7	
	UKT 4.75 03/07/20	4.75	2,142	2,216	321,175	2020/3/7	
	UKT 8 06/07/21	8.0	1,909	2,202	319,108	2021/6/7	
合 計				1,659,393			

（注1）邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

（注2）額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2019年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	1,659,393	98.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	25,367	1.5
投 資 信 託 財 産 総 額	1,684,760	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産(1,680,582千円)の投資信託財産総額(1,684,760千円)に対する比率は99.8%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2019年4月25日現在における邦貨換算レートは、1英ポンド=144.90円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2019年4月25日現在

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,689,106,848円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	6,334,361
公 社 債(評価額)	1,659,393,785
未 収 入 金	8,841,678
未 収 利 息	14,537,024
(B)負 債	12,646,711
未 払 金	4,346,700
未 払 解 約 金	8,300,000
未 払 利 息	11
(C)純 資 産 総 額(A-B)	1,676,460,137
元 本	1,928,504,005
次 期 繰 越 損 益 金	△ 252,043,868
(D)受 益 権 総 口 数	1,928,504,005口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	8,693円

(注記事項)

期首元本額	2,315,048,848円
期中追加設定元本額	1,042,602円
期中一部解約元本額	387,587,445円

(当期末元本の内訳)

アムンディ・英国債ファンド(毎月決算型)	1,759,804,174円
アムンディ・英国債ファンド(年2回決算型)	168,699,831円

■損益の状況

当期 自2018年10月26日 至2019年4月25日

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	33,450,949円
受 取 利 息	33,455,266
支 払 利 息	△ 4,317
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 16,020,770
売 買 益	12,477,060
売 買 損	△ 28,497,830
(C)そ の 他 費 用 等	△ 125,671
(D)当 期 損 益 金(A+B+C)	17,304,508
(E)前 期 繰 越 損 益 金	△ 321,723,219
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	△ 142,602
(G)解 約 差 損 益 金	52,517,445
(H)計 (D+E+F+G)	△ 252,043,868
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 252,043,868

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。